

抗ウイルス活性試験データ

**いま問題となっている3つのウイルスに対して
 高い抗ウイルス活性を示しました。**

試験ウイルス	抗ウイルス活性値【Mv】	
新型コロナウイルス（デルタ株）	≥4.3	
鳥インフルエンザ（H5N3型）	5.5	
インフルエンザA型（H1N1型）	>2.8	
ISO 18184附属書G（参考）	$3.0 > Mv \geq 2.0$	小さい効果
	$Mv \geq 3.0$	十分な効果

Mv値：対照区のウイルス感染価（対数値）との差。



抗ウイルス活性試験データ

【新型コロナウイルス（デルタ株）】

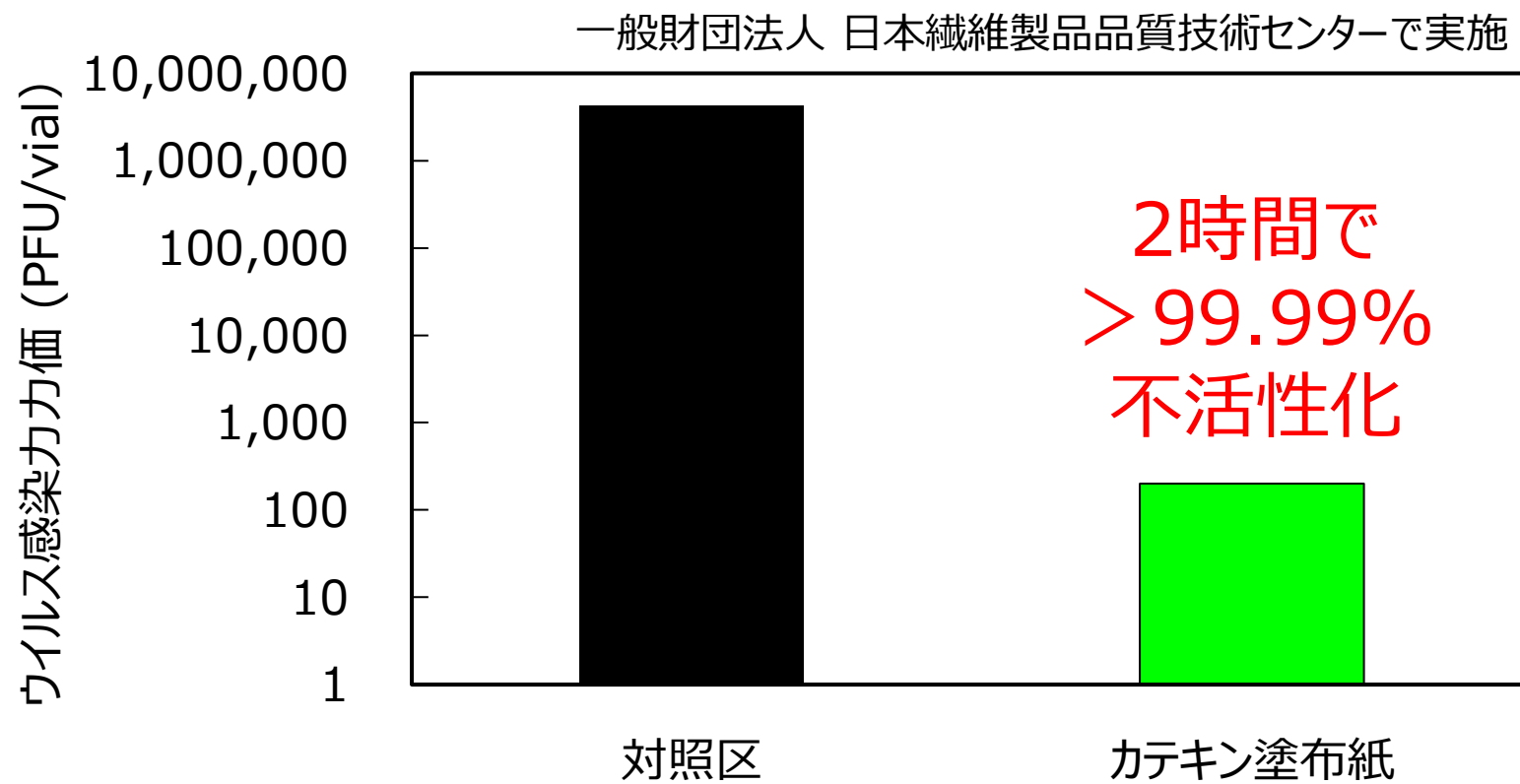


図1. 抗新型コロナウイルス活性試験.

表1. カテキン塗布紙の抗新型コロナウイルス活性試験（一般財団法人 日本繊維製品品質技術センターで実施）.

試験方法：JIS L1922「繊維製品の抗ウイルス性試験方法」準用.

試験ウイルス：SARS-CoV-2 変異株（デルタ株）；hCoV-19/Japan/TY11-927-P1/2021.

試料		ウイルス感染価(PFU/vial) ^{注1} 常用対数値		減少値 【M】 ^{注2}	抗ウイルス活性値 【Mv】 ^{注3}
		常用対数値	常用対数 値平均値		
対照区	接種直後 【log(Va)】	n1	6.63	6.63	0.8
		n2	6.49		
		n3	6.78		
	2時間作用後 【log(Vb)】	n1	5.79	5.85	
		n2	5.90		
		n3	5.85		
カテキン塗布紙	2時間作用後 【log(Vc)】	n1	<2.30	<2.30	—
		n2	<2.30		
		n3	<2.30		

(注1) PFU: plaque forming units.

(注2) 減少値【M】= log(Va) - log(Vb)（試験成立条件：減少値【M】≤ 1.0）.

(注3) 抗ウイルス活性値【Mv】= log(Va) - log(Vc). 抗ウイルス活性基準値 ≥ 2.

【鳥インフルエンザウイルス】

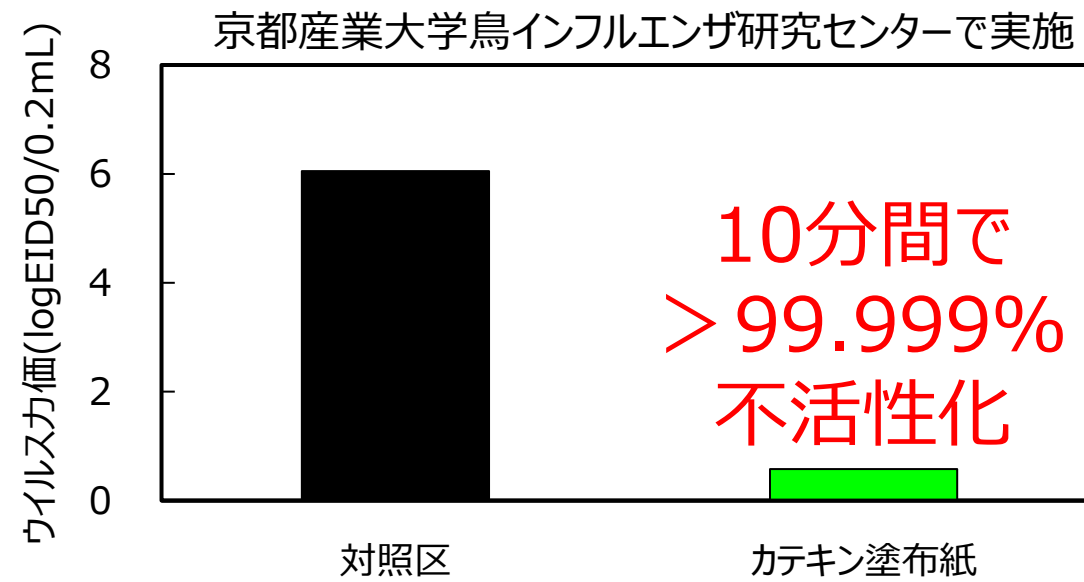


図2. 抗鳥インフルエンザウイルス活性試験

表2. カテキン塗布紙の抗鳥インフルエンザ活性試験（京都産業大学鳥インフルエンザ研究センターで実施）。
 試験ウイルス：鳥インフルエンザウイルス（H5N3株）

試料	ウイルス力価(logEID50/0.2mL)			抗ウイルス活性値 【Mv】 ^{注3}
	常用対数值		平均値	
対照区	n1	5.75	6.05	-
	n2	5.75		
	n3	5.75		
	n4	6.50		
	n5	6.50		
カテキン塗布紙	n1	<0.5	0.58	5.5
	n2	<0.5		
	n3	0.75		
	n4	nt		
	n5	nt		

【インフルエンザウイルスA型】

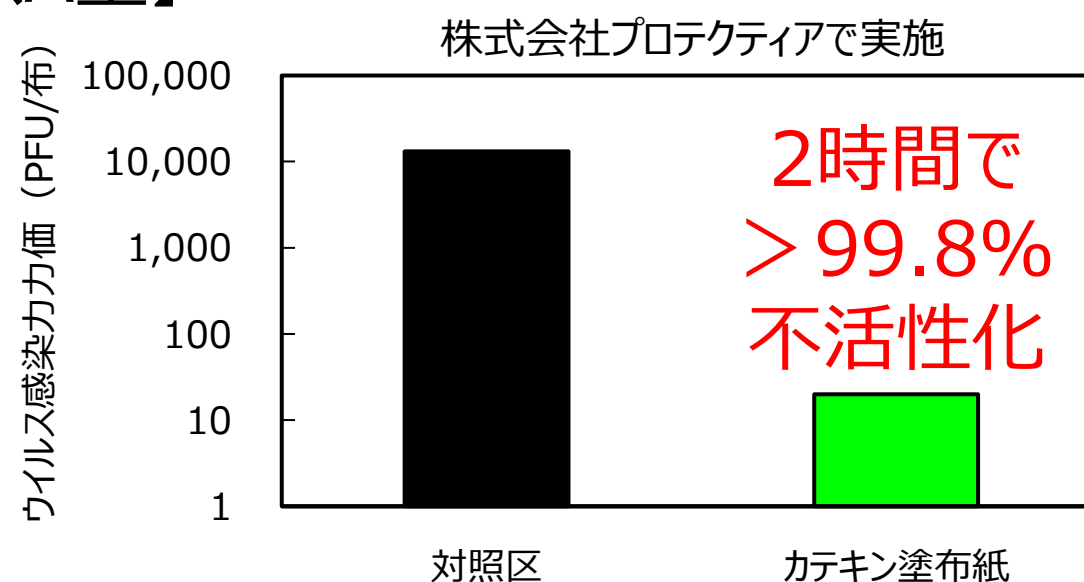


図3. 抗インフルエンザ活性試験

表4. カテキン塗布紙の抗インフルエンザウイルス活性試験（株式会社プロテクトアで実施）。
 試験ウイルス：インフルエンザウイルスA型（H1N1型）

試料	ウイルス力価(logEID50/0.2mL)			抗ウイルス活性値 【Mv】 ^{注3}
	常用対数值		平均値	
対照区	n1	4.09	4.12	-
	n2	4.14		
カテキン塗布紙	n1	<20	<1.30	>2.8
	n2	<20		